

第13回 北海道 小・中・高生 短歌コンテスト二次審査通過作品（通過245首中、入選以上を除く160首）

小学1～3年生の部

1	にちようびこうえんにいきりすみつけかぞくみんながほっこりえがお	岩内町立岩内西小学校	3年	浅坂恋々実
2	夏休みはなびのあとですいかわりすいかをわるとゆうひみたいた	岩内町立岩内西小学校	3年	梅村 真央
3	あきの日におちばをとってラブレターどこに行くのかかぜがたよりだ	岩内町立岩内西小学校	3年	梶 虎白
4	まよなかのキラキラ光ながれぼしながれてしまうながれてしまう	岩内町立岩内西小学校	3年	齋藤 全
5	学校はみんなそろってたのしいなだけどつかれる算数国語	岩内町立岩内西小学校	3年	佐々木美夢
6	あああつい夏はやっぱりあついねえフライパンたちやかかれてこげる	岩内町立岩内西小学校	3年	浜守 祐汰
7	こうしえんこうこうせいのゆめのばしょぼくもめざすぞぜんこくせい	岩内町立岩内西小学校	3年	吉田 大空
8	あっちワワちいさいから大きい目いつかかいたいうらやましいな	札幌市立開成小学校	3年	松岡 栞穂
9	夏の日みんなでそろってスイカわり目かくしてねさあ始まりだ	札幌市立しらかば台小学校	3年	木村 真悠
10	夏休みフェリーにのってたびをしたばあばとねこに会いに行ったよ	札幌市立手稲東小学校	2年	千野琥太郎
11	友だちとせんこう花火してみたらパチパチプクリ楽しかったよ	札幌市立東園小学校	3年	青山 想世
12	ハリねずみすごくかわいくねぼうするうさくしてもねているんです	札幌市立東園小学校	3年	井上 一輝
13	夏休みサッカーのし合雨ふっけいすにいるとねブルブルさむい	札幌市立東園小学校	3年	小笠原大輝
14	シーサーとまぶしい太陽青い海ザーザー雨はがっかりすぎる	札幌市立東園小学校	3年	小倉 良介
15	あおいけきれいすぎるぞすごいけお店のキャラメルまた青い色	札幌市立東園小学校	3年	金森 翔吾
16	朝おきてラジオたいそうねむかったよけどがんばったらシールもらえたよ	札幌市立東園小学校	3年	後藤 桜介
17	海にきてやどかりたちの大げんかずっと見てたら帰る時間だ	札幌市立東園小学校	3年	藤原 有花
18	りょこうでねはじめてのったよしんかんせんすごいスピードけしきもビュン	札幌市立東園小学校	3年	矢野 優奈
19	てつぼうのれんしゅうしてた空みたらいろんなくもがあってびっくり	札幌市立東園小学校	3年	油村ましろ
20	マルチーズふわふわしてる雲みたいさわりたいけどかゆくなっちゃう	札幌市立東光小学校	2年	高橋 佑奈
21	海でつりアジがつれたよ大りようだおいしかったなあのアジフライ	札幌市立平岡南小学校	3年	萩原 照太
22	夏休みゲームしたいができないよとうさんかくすいとしいソフト	札幌市立伏古北小学校	2年	橋本 克彦
23	わらったらチューリップみたいおかあさんとともやさしいかわいいえがお	札幌市立伏古北小学校	3年	坂東めぐり
24	あかみどりいっぱいとれるなつやさいたべてもたべてもまだあるぞ	札幌市立伏見小学校	2年	伊藤 晏理
25	みんなねいちょうの葉っぱをなげてあそぶとんでけいちょうもつと遠くまで	東川町立東川第二小学校	3年	藤原 采花

小学4～6年生の部

26	夏の海太陽の光サンサンと風とも遊び水しぶきとぶ	旭川市立旭川小学校	5年	小笠原咲紀
27	夏終わりそよそよそよと風がふくとんぼーぴき大空を飛ぶ	旭川市立旭川小学校	5年	戸松蒼太郎
28	秋の空橋から見える紅葉が美しすぎて私もまっか	旭川市立旭川小学校	5年	平山 彩香
29	帰り道道を照らすよお月さま流れる雲のゆくさきはどこ	旭川市立旭川小学校	5年	古屋 桃果
30	夏野球負けてないたら目が赤くまわりをみるともつと赤い目	旭川市立旭川小学校	5年	柳橋 快音
31	赤ちゃんのお世話たのまれうれしいなごはんあげるとおおあばれした	旭川市立豊岡小学校	5年	佐々木伶菜
32	もんべつの流れるプールでおよいだらまるで魚になった気分だ	旭川市立豊岡小学校	5年	樋口 龍
33	タヤけがカモメを照らす西の空夏の漁港はオレンジ色	江差町立南が丘小学校	4年	中島 琢人
34	雨ふってぬれてポツポツもようつく雲もどんより私もどんより	江差町立南が丘小学校	4年	名達 彩帆
35	弟と線香花火対決だバチバチボトン今度は勝つぞ	遠軽町立瀬戸瀬小学校	6年	岡村 柚奈
36	桜の芽ほんのり春を感じてる北海道の寒いお花見	札幌市立旭小学校	6年	安部 栞和
37	夏が来たお墓に行って祖母の背をタオルでふいて涙こぼれる	札幌市立旭小学校	6年	近藤 勝斗
38	あたたかな風がふくたび桜舞い足元見れば桃色の川	札幌市立厚別東小学校	6年	池田 朱季
39	空さんよそのだいたいとむらさきのドレスをくれとカラスがうたう	札幌市立厚別東小学校	6年	新川 七緒
40	回転ずし昔はメロン食べていた今はさび入り大人のきぶん	札幌市立稲積小学校	6年	水戸 大翔
41	帰り道二人でたべたかき氷いっせいにキーンとなって笑いだす	札幌市立丘珠小学校	5年	築紫 心那

42	友達とうさぎさわったあたたかいふかふかしててもここの雲	札幌市立開成小学校	5年	斉藤 来美
43	歩いたよ滝野しこつ湖仲間とね思い出いっぱい最後の夏	札幌市立駒岡小学校	6年	高島 李佳
44	新学期みんなの背(せい)を確かめるならんでみたらあつぬかれてる!	札幌市立栄小学校	6年	石井 結菜
45	あかとんぼこのゆびとまれとさしだしたもう秋かしらと笑う母	札幌市立栄南小学校	6年	大野 有彩
46	青空に飛行機雲が消えてゆく心の中では消えていかない	札幌市立栄南小学校	6年	松永 昂大
47	水の中宇宙のようにもどかしい泳ぎたいのに手が動かない	札幌市立札幌北小学校	4年	古屋 嘉久
48	ミニトマトばあちゃんのあじ夏休み黄色だ赤だ収かく祭	札幌市立札幌北小学校	6年	佐々木 麗
49	暗闇にぼんやり光る街灯が羽音をたてるほたるにみえて	札幌市立札幌北小学校	6年	高口 ののか
50	たのしみはそよそよ風がふいてきて手つなぎ春をつれてくるとき	札幌市立札幌北小学校	6年	田中 結天
51	夕やけの赤を加える落ち葉道気付けば早く時間が過ぎる	札幌市立札幌北小学校	6年	中山 愛菜
52	チョーク持ち二人ならんで夢描くわが家の前の歩道にしゃがみ	札幌市立札幌北小学校	6年	宮川 雪葉
53	公園でやっと見つけた四つの葉周囲にまぎれる小さな幸せ	札幌市立札幌北小学校	6年	横内のほら
54	朝日はね一つしかないまん月も一つしかない宝物だよ	札幌市立札幌緑小学校	5年	清水 大地
55	本物のトリケラトプス見てみたいなにしているのすごく気になる	札幌市立屯田西小学校	4年	山下 明莉
56	響いてく秋夜の鐘の音聞いてなにがあらうと幸せは来る	札幌市立発寒東小学校	6年	上田 夕愛
57	水底で貝の化石がつぶやいてだれにも見られずしずかに光る	札幌市立発寒東小学校	6年	門ノ沢菜瑠
58	年老いた花だんに咲いたタンポポが新たな命をまた繋いでく	札幌市立発寒東小学校	6年	篠澤 凜奈
59	反抗期暴言吐いてこもっても返す言葉はあたたかい母	札幌市立発寒東小学校	6年	鈴木 梨心
60	横の君片方はずれたイヤフォンは何を意味してゆれたままなの	札幌市立発寒東小学校	6年	藤嶋 果歩
61	毎朝のラジオ体操エゾリスもみんな仲良くいち・にい・さん	札幌市立円山小学校	6年	安部 泰穂
62	流水館マイナス15度体験しクリオネの美に感動する夏	札幌市立円山小学校	6年	桂木 美怜
63	せみの鳴く日数の減る夏休みしずむ夕日をながめるさびしさ	札幌市立円山小学校	6年	松本 実樹
64	せみの声黒姫山のふもとから遠くまで行く合唱のように	札幌市立円山小学校	6年	山口 琴子
65	積丹の光る水面青い空海のめぐみが夏をいろいろ	札幌市立円山小学校	6年	綿谷 光
66	指ふれる小さな鍵盤とびらあげ曲の世界無数に広がる	札幌市立南月寒小学校	6年	荻原 千奏
67	金沢の海はサファイヤ深い青気分はまるでイルカのような	札幌市立もみじの丘小学校	5年	伊達凜太郎
68	小豆島オリーブしょうゆ生そうめんあんなそうめんたべたことない	札幌市立山の手南小学校	5年	荒木 琴子
69	宮古島みんなでもぐるダイビングきれいな魚たくさんいたよ	札幌市立山の手南小学校	5年	小路口 希
70	思いきり土をけとばし手をついてはじめてできたさかだちのわざ	函館市立中部小学校	4年	佐藤 藍蘭
71	図書委員人がこないと静かだなみんなは外でボール遊び	函館市立中部小学校	4年	白戸爽太郎
72	ザアザア屋根にぶつかる雨の音学校行く日雨降るのかな	東川町立東川第二小学校	6年	浅野 秀太
73	なな色のはしご利尻の空に立つ木の葉のしづく首筋に落ちた	利尻富士町立鷺泊小学校	5年	西島 一樹

中学生の部

74	空駆ける自由な鳥に魅せられて空へ羽ばたく鉄の塊	旭川市立愛宕中学校	2年	折田 司
75	闇の中しずく滴る水時計一億年をタイムスリップ	旭川市立東陽中学校	3年	石田 慶耀
76	あの音はあずきを洗うざるの音みんな待ってる祖母のぼたもち	旭川市立東陽中学校	3年	野崎 桜都
77	口げんか少し言い合い仲直り姉妹げんかはせんこう花火	旭川市立東陽中学校	3年	道廣 結花
78	しわの数増えてることに気付かずに疲れを笑顔で母は隠して	網走市立第三中学校	2年	高橋ことは
79	次々と自分の身にふる不幸の矢心の中はブラックホール	岩見沢市立明成中学校	2年	紙谷 藍斗
80	終わったな涙が一つ流れたら私をてらす綺麗な夕日	恵庭市立恵庭中学校	2年	犬童 理保
81	友達はずっとふんぶん怒っている何気にそれがかわいくてとりこ	恵庭市立恵庭中学校	2年	加藤 光貴
82	奥底に秘めてる心口に出ず思いのてんびんかたむいていく	恵庭市立恵庭中学校	2年	田中 雪凧
83	雨の日は外に出ようよ傘さしてポタポタなる音心やすらぎ	恵庭市立恵庭中学校	2年	山口 花穂
84	草原でねころび空を見上げると夜空はキャンバス言葉は絵筆	江別市立江別第三中学校	2年	栗山 一輝
85	ゴールしたたどり着いたと思ってもゴールはいつも次のスタート	江別市立江別第三中学校	2年	平原 瑚雪
86	あれ見たいここ行きたいと強請る母アイスと居たいと即拒む僕	小樽市立望洋台中学校	2年	小島 君斗

87	宿泊のホテルの部屋での恋バナはおどろきかくせずぼうぜんとする	北広島市立大曲中学校	2年	秋元 美槻
88	きつかった農業体験牧場で記憶にのこる牛たちの声	札幌市立厚別南中学校	2年	後藤 嵩仁
89	暑き日に腰を折り曲げ苗を植え命育む大変さ知る	札幌市立厚別南中学校	2年	斎藤 颯汰
90	言えるかな頑張れるのは好きだからそんな言葉を私もいつか	札幌市立厚別南中学校	2年	豊原 佑衣
91	酪農で命のおもさ身にしみていただきますに心をこめる	札幌市立厚別南中学校	2年	宮 聖
92	真夏日に飛行機雲が語るのはあの日におきた日本の悲劇	札幌市立札苗中学校	2年	佐藤 桃花
93	空見上げコートライン思いたすとどかなかった最後の一球	札幌市立札苗中学校	2年	高野 美憂
94	夢が覚め窓から見える初雪をぼんやりながめる月曜の朝	札幌市立札苗中学校	2年	塚本 隼生
95	受験生毎日見ている問題集目にやきついて世界もモノクロ	札幌市立信濃中学校	3年	児玉 悠騎
96	蝉時雨待ってましたよこの時期を暑さを告げるサウンドレター	札幌市立平岡緑中学校	1年	佐藤 七星
97	満面の笑みを浮かべた少年のあのクリスマスもう来ない夜	札幌市立前田北中学校	2年	井樫 太希
98	二人乗り君のうしろで下り坂夕日と共に染まりゆく恋	札幌市立前田北中学校	2年	竹田 悠人
99	朝七時くらい鳴っても気づかれず僕に呆れる目覚まし時計	札幌市立前田北中学校	2年	松原 駿亮
100	走りきり頬つたう汗拭いつつ友と交わしたハイタッチ	札幌市立宮の丘中学校	2年	福本あめり
101	真っ白な竜の吐息がサラリサラリ枯れ葉と心に新しい風	札幌市立宮の森中学校	3年	山本 理恵
102	授業中黒板写さず手を止めて想いよ届けと見つめる横顔	千歳市立千歳中学校	2年	斎藤 灯
103	ぎこちなく楽器構えて息入れる初めて鳴った音は何色	千歳市立千歳中学校	2年	丸山 侑莉
104	夕焼けの部活帰りの夏景色紫ピンク宇宙(そら)のごほうび	当麻町立当麻中学校	2年	大館 美月
105	大輪の消えた夜空にひとつだけ浮かぶ満月私の心	当麻町立当麻中学校	2年	桑田 歩香
106	祖父祖母とお餅作った盆休み好きなエプロン黒糖の香り	苫小牧市立植苗中学校	3年	島田美紗希
107	夕方に海のかなたへ落ちてゆくルビーのように輝く太陽	苫小牧市立青翔中学校	2年	兜谷 悠仁
108	はばたきたいそんな思いを胸にひめ鉄の鳥をじっと見つめる	苫小牧市立青翔中学校	2年	久保 晃雅
109	弟と散歩してれば見えてくるいつもは見えない小さな花たち	苫小牧市立青翔中学校	2年	坂本 真彩
110	ワールドカップ日曜日に見て月曜日重い目あけて向かう学校	苫小牧市立青翔中学校	2年	田中 美優
111	冬の夜赤くそまる星空は夏の星より心にしみる	苫小牧市立青翔中学校	2年	畠山 音輝
112	春が来て忘れかけてた隅の雪恋しくなってさわってみたり	苫小牧市立青翔中学校	2年	林 佑香
113	インコース絶好球が今来たぞ俺の思いととんでけ白球	豊浦町立豊浦中学校	2年	外山 凌央
114	三色のわたあめ片手で持ちながらいつもと違う道を歩くよ	名寄市立名寄東中学校	2年	林崎 永奈
115	秋が来て押し入れ開けて寒さ出し暑さをしまい夏から冬へ	根室市立歯舞中学校	2年	清水 空
116	満月の津軽の海に光さす輝く橋のゆれる道すじ	函館白百合学園中学校	2年	立石 愛
117	花火見て入院中の君想う悲しみに暮れ涙あふれる	函館市立港中学校	2年	松本 晴喜
118	引き潮にとり残されし白い貝耳に当てると海のささやき	立命館慶祥中学校	1年	梶 咲桜
119	せみの声もみじ手あわすいもうとのせなに祖先の声きく墓石	立命館慶祥中学校	1年	深瀬 稜太
120	笑ってるまっかなトマトおいしそうたべてたべてとささやくトマト	立命館慶祥中学校	3年	柴田 礼歩

高校生の部

121	話せずに抱えた悩みを猫にだけそっともらした十五の夏	旭川龍谷高等学校	1年	角田 彩碧
122	前髪を切りすぎ嘆く女子の声嘲笑いつつ英単覚える	旭川龍谷高等学校	1年	松澤 本樹
123	夏祭り平成最後の夏だから約束交わして君と行きたい	帯広北高等学校	1年	井村 愛美
124	進むべき道を探して迷う日々蝉と一緒に自分もなきたい	帯広北高等学校	1年	角田 悠作
125	この環境慣れるに慣れず五月病昔懐かしあの頃の友	帯広北高等学校	1年	庄司 海音
126	夏休み実家に帰省嬉しいななつかしい味我が家のカレー	帯広北高等学校	1年	野里 尚希
127	ひさしぶり見て安心する兄の顔関西に染まりなんでやねん	帯広北高等学校	2年	石丸 李音
128	気がつけばテーブルの上スカスカに手抜き料理もおふくろの味	帯広北高等学校	2年	岩出 悠汰
129	今までもこれから先も会えないが亡き母親に届ける感謝	帯広北高等学校	2年	金泥 響
130	なつかしや家族で食べる晩ご飯今では三食一人で食べる	帯広北高等学校	2年	斎藤 朱李
131	悩む日々やる気スイッチどこにある学ぶ楽しさまだ未知の世界	帯広北高等学校	2年	杉本 妃鞠

132	いいね数Instagramにとらわれず心に残そうインココログラム	帯広北高等学校	2年	高山 美優
133	知床の大自然を目の前に家族全員シャッターをきる	帯広北高等学校	2年	野崎いさな
134	「肩揉んで。」母に言われたその言葉肩を触って知った苦労	帯広北高等学校	2年	林 彩那
135	あさごはんおひるごはんによるごはん私はなにもしないでいいの？	帯広北高等学校	3年	木村 侑杏
136	親戚の赤子の頭なでたなら見せる笑顔にゆるむ我が頬	北海道岩見沢高等養護学校	3年	濱口 竜伊
137	大丈夫空を見上げて歩き出す今日もあなたが見てくれる	北海道江差高等学校	1年	赤石 香花
138	前の雲僕が抜いたら次の雲大空に浮く真っ白な夢	北海道江差高等学校	1年	敦賀 想
139	なすきゅうり仏の前に置いてみる迷えるぼくは何に乗ればいい	北海道小樽未来創造高等学校	1年	久保田日音
140	夏祭り浴衣で化粧した君は木の葉で化けた小狐のよう	北海道小樽未来創造高等学校	1年	今野 渚
141	一日に五千メートル泳ぎきりたえてたえて強くなりたい	北海道小樽未来創造高等学校	1年	竹川 怜
142	高島の越後踊りにぎやかに思いをはせるまだ見ぬ土地を	北海道小樽未来創造高等学校	1年	寺井 結花
143	降りそそぐ夏の日光浴びながら悪態ついて歩く坂道	北海道小樽未来創造高等学校	1年	中禰 楓太
144	青い海人影うつる水面に二人の気持ち重なりわれる	北海道小樽未来創造高等学校	1年	藤本 彩
145	部活前毎回走る天狗山日差し照りつけ気合いが入る	北海道小樽未来創造高等学校	2年	島谷 竜人
146	華やかな浴衣姿と下駄の音カランコロンとあたりに響く	北海道小樽未来創造高等学校	2年	竹下 昇摩
147	バスの中快適すぎて居眠りし終点までいき歩いて帰る	北海道小樽未来創造高等学校	2年	榎谷 竜希
148	授業中窓から聞こえる潮音頭小樽の夏の訪れ感じる	北海道小樽未来創造高等学校	3年	青木 拓夢
149	海日和透んだ青色キラキラと照りつける日差し肌は小麦色	北海道小樽未来創造高等学校	3年	野呂 みう
150	何もない歴史の隙間の一日に生きてる事を噛みしめていた	北海道小樽未来創造高等学校	3年	平田 理来
151	浴衣からちらりと見える白い首汗が流れて胸ときめかす	北海道釧路商業高等学校	1年	松川 真実
152	憧れて買ったギターは今となりやすこしおしゃれなインテリアだな	北海道釧路商業高等学校	2年	山田 由奈
153	三次元恋に疲れて行く先は癒し樂園二次元世界	北海道高等聾学校	3年	脇山 彩葉
154	「おそろい」と「まね」の意味はちがうんだ女子の世界は解けないパズル	北海道札幌白石高等学校	1年	角田 杏
155	携帯のアプリをとじてまたひらく話したいのに待つだけの僕	北海道札幌白石高等学校	1年	金子冬佑美
156	楽器吹き一点見つめるその先に朱に染まる空風に舞うとんぼ	北海道札幌白石高等学校	1年	金田 悠磨
157	言の葉にのせた心が伝わらず否定できずに仮面をつくる	北海道札幌白石高等学校	1年	國中 楓希
158	風景画元の画像より画質上げInstagramで皆がさわぐ	北海道滝上高等学校	3年	滝沢 優奈
159	いちごだけそっと横によけておく幸せはいつも後からくるから	北海道津別高等学校	3年	仲田 小夏
160	自販機の下に金落ち青ざめる顔面から出る大量の汗	北海道津別高等学校	3年	向平 堅斗